

Patent Abstracts of Japan

AJ

PUBLICATION NUMBER : 2000326778  
PUBLICATION DATE : 28-11-00

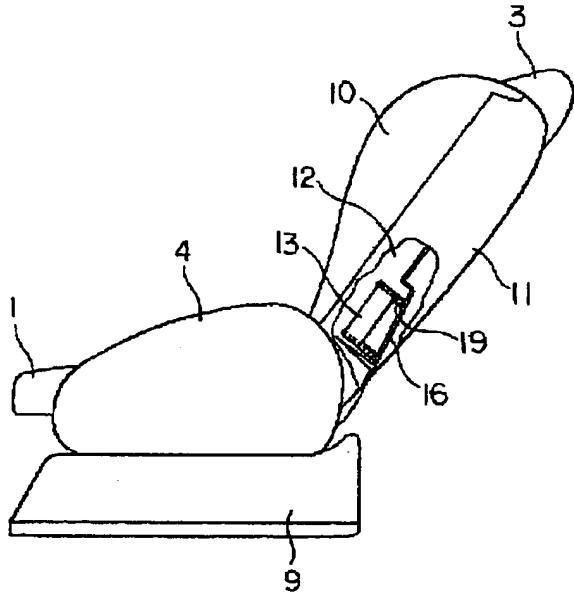
APPLICATION DATE : 20-05-99  
APPLICATION NUMBER : 11139854

APPLICANT : CAR MATE MFG CO LTD;

INVENTOR : ENDO KAZUHIKO;

INT.CL. : B60N 2/28 A47C 7/74 A47D 1/00  
B60R 22/10

TITLE : BABY SEAT



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To sufficiently remove heat and moisture generated from a baby by arranging an air adjusting means such as an air blower for forcedly excluding heat and moisture generated in a seat back part.

SOLUTION: A space 12 is formed between a surface member 10 and a reverse member 11 of a seat back, and an air adjusting unit 13 such as an air blower is arranged in this space 12. Air vents penetrating through the back face side from the front face side are respectively provided in a front central part and a lower part of the surface member 10. The air adjusting unit 13 is fixed by a screw on a boss 19 arranged in a recessed part 16 recessed in a box shape on the back face side, and sucks outside air via the air vents of the surface member 10 to be blown off outside via an air vent of the reverse member 11. The air adjusting unit 13 is desirably installed in a lower part of the seat back for lowering the center of gravity of a baby seat itself to thereby forcedly remove heat and moisture generated in a seat back part.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

Docket #4626  
10/965, 453

AJ

(19)日本特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-326778

(P2000-326778A)

(43)公開日 平成12年11月28日(2000.11.28)

(51)Int.Cl.  
B 60 N 2/28  
A 47 C 7/74  
A 47 D 1/00  
B 60 R 22/10

識別記号

F I  
B 60 N 2/28  
A 47 C 7/74  
A 47 D 1/00  
B 60 R 22/10

テマコト<sup>®</sup>(参考)  
3 B 0 8 4  
Z 3 B 0 8 7

審査請求 未請求 請求項の数 5 OL (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平11-139854

(22)出願日 平成11年5月20日(1999.5.20)

(71)出願人 391021226

株式会社カーメイト  
東京都新宿区榎町72番地

(72)発明者 宮本 吉彦

東京都新宿区榎町72番地 株式会社カーメイト内

(72)発明者 遠藤 和彦

東京都新宿区榎町72番地 株式会社カーメイト内

(74)代理人 100062982

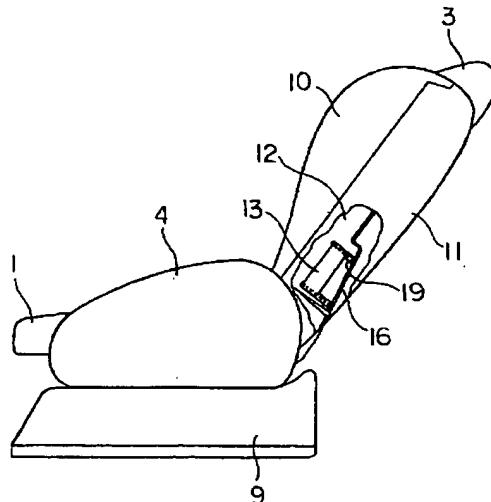
弁理士 澤木 誠一 (外1名)  
F ターム(参考) 3B084 JA02 JC06  
3B087 CE01 DE10

(54)【発明の名称】 乳幼児用シート

(57)【要約】

【課題】 従来の乳幼児用シートにおいては、乳幼児から発生する熱や湿気の除去が不可能であった。

【解決手段】 本発明の乳幼児用シートにおいては、背もたれを形成する表面部材と裏面部材に夫々通気孔を形成すると共に両者間に空間を形成し、この空間内に空気調整手段を設け上記表面部材の上記通気孔から外気を吸引し上記裏面部材の上記通気孔から外部に排出する。上記空気調整手段を送風機とし、車輌の電源または乾電池により駆動する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 背もたれ部分に発生する熱や湿気を強制的に排除する手段を設けたことを特徴とする乳幼児用シート。

【請求項2】 背もたれを形成する表面部材と裏面部材に夫々通気孔を形成すると共に両者間に空間を形成し、この空間内に上記表面部材の上記通気孔から外気を吸引し上記裏面部材の上記通気孔から外部に排出するための空気調整手段を設けたことを特徴とする乳幼児用シート。

【請求項3】 上記空気調整手段が上記背もたれの下方部分に設けられていることを特徴とする請求項2記載の乳幼児用シート。

【請求項4】 上記空気調整手段が送風機であり、車輪の電源により駆動されることを特徴とする請求項2または3記載の乳幼児用シート。

【請求項5】 上記空気調整手段が送風機であり、乾電池により駆動されることを特徴とする請求項2または3記載の乳幼児用シート。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は乳幼児用シート、特に、シート背面から熱や湿気を除去できるようにした乳幼児用シートに関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 乳幼児用シートに通気性を有せしめたものとしては、例えば特開平10-100762号公報に示されたものがある。

【0003】 このような従来の乳幼児用シートにおいては、シートの表皮材として立体メッシュを用い衝撃吸収材として高通気性ウレタンを用い、更に通気用の凹溝や、通気用貫通孔を設けている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 然しながら、上記従来の乳幼児用シートにおいては、乳幼児から発生する熱や湿気の除去が不十分であった。

【0005】 本発明は上記の欠点を除くようにしたものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明の乳幼児用シートは、背もたれ部分に発生する熱や湿気を強制的に排除する手段を設けたことを特徴とする。

【0007】 また、本発明の乳幼児用シートは、背もたれを形成する表面部材と裏面部材に夫々通気孔を形成すると共に両者間に空間を形成し、この空間内に上記表面部材の上記通気孔から外気を吸引し上記裏面部材の上記通気孔から外部に排出するための空気調整手段を設けたことを特徴とする。

【0008】 上記空気調整手段は上記背もたれの下方部分に設けることを特徴とする。

10

【0009】 また、上記空気調整手段は送風機であり、車輪の電源または乾電池により駆動されることを特徴とする。

## 【0010】

【発明の実施の形態】 以下図面によって本発明の実施例を説明する。

【0011】 図1及び図2において1は座席、2は背もたれ、3はヘッドレスト、4はアームレスト、5は肩ベルト、6は前方拘束ベルト、7はこれらベルト5、6を着脱自在に連結するためのバックル、8は前方拘束ベルト6とバックル7を被覆するシールド、9は上記座席1を支持するベースを示し、本発明においては、背もたれ2の表面部材10と裏面部材11との間に空間12を形成し、この空間12内に送風機等の空気調整器13を配置する。

【0012】 図3～図5は上記表面部材10の詳細を示し、その正面中央上部及び下部には夫々前面側から背面側に貫通する通気孔14、15を有する。

【0013】 図6～図8は上記表面部材10に連結される裏面部材11の詳細を示し、その正面中央下部には前面側から背面側にボックス状にくぼんだ凹部16を有し、この凹部16部分及び上記裏面部材11の正面中央上部に貫通して設けた通気孔17、18とを有する。

【0014】 上記空気調整器13は図2及び図9に示すように上記凹部16内に設けたボス19上にネジ20等により固定し、上記表面部材10の上記通気孔を介して外気を吸引し、これを上記裏面部材11の通気孔を介して外部に放出せしめるようとする。

【0015】 なお、上記空気調整器13は例えば、車輪のシガーソケットから電源をとり、または乾電池を用い、ON-OFFスイッチ(図示せず)により制御する。

【0016】 また、上記空気調整器13は乳幼児用シート自体の重心を低くするために背もたれ2の下方部分に取り付けるのが好ましい。

## 【0017】

【発明の効果】 本発明の乳幼児用シートは上記のような構成であるから、体温調節が未発達な乳幼児が寝てしまつた時の発汗によるムレを取り除いたり、背もたれ2部分に生じた熱や湿気を強制的に除去でき、子供が汗をかかないで快適に座り得るようになると共に、外部から空冷する場合と異なり冷風が直接乳幼児の体に当って体温を下げる等の恐がない等大きな利益がある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の乳幼児用シートの斜視図である。

【図2】 本発明の乳幼児用シートの側面図である。

【図3】 本発明の乳幼児用シートにおける表面部材の正面図である。

【図4】 本発明の乳幼児用シートにおける表面部材の側面図である。

40

50

【図5】本発明の乳幼児用シートにおける表面部材の平面図である。

【図6】本発明の乳幼児用シートにおける裏面部材の正面図である。

【図7】本発明の乳幼児用シートにおける裏面部材の側面図である。

【図8】本発明の乳幼児用シートにおける裏面部材の平面図である。

【図9】本発明の乳幼児用シートの一部を断面とした斜視図である。

【符号の説明】

- 1 座席
- 2 背もたれ
- 3 ヘッドレスト
- 4 アームレスト
- 5 肩ベルト

\* 6 前方拘束ベルト

7 バックル

8 シールド

9 ベース

10 表面部材

11 裏面部材

12 空間

13 空気調整器

14 通気孔

10 15 通気孔

16 四部

17 通気孔

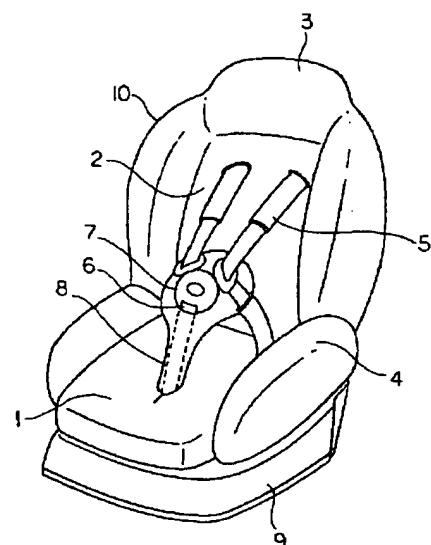
18 通気孔

19 ボス

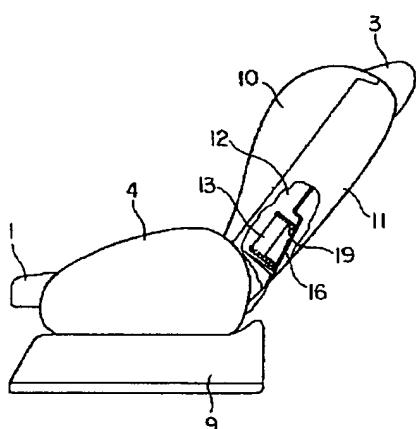
20 ネジ

\*

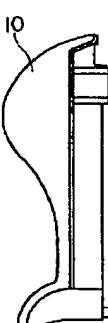
【図1】



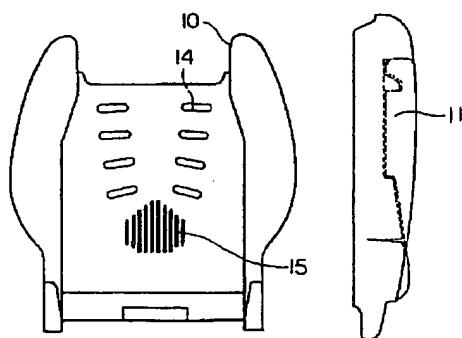
【図2】



【図4】



【図3】



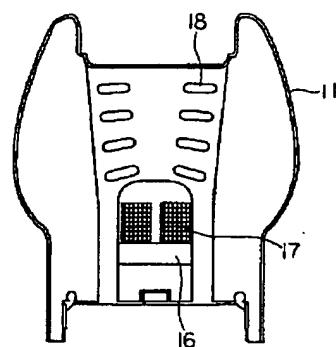
【図5】



【図8】



【図6】



【図9】

